

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000156
法人名	医療法人 佑志会
事業所名	グループホーム 花々館
所在地	鹿児島県日置市伊集院町徳重三丁目3番地14 (電話) 099-273-8787
自己評価作成日	令和1年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和1年11月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者やご家族の皆様が安心して、穏やかで笑顔の耐えない毎日が過ごせるような施設作りを心がけており、地域の方々には花々館のことを理解していただき、地域の方々にも施設の行事等の声かけを行ない、地域の方々との交流を図っています。  
医療連携の強化を図り、入居者の健康管理を24時間体制で見守っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は法人母体の医療機関から近距離のところ有り、通所リハビリに利用者に応じて職員が週2～3回同伴している。定期的に主治医の診察もあり健康管理や24時間医療連携体制で家族も安心感がある。
- ・利用者はフロアでコミュニケーションを図り、表情もよく個々に応じて楽しく過ごしている。
- ・管理者や職員は家族に積極的に声かけし、利用者の変化や現状を伝えて家族と話し合い支援している。
- ・職員は利用者の思いに寄り添い、残存機能を活かし関わりをしている。また、資格取得に向け日々自己研鑽している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後に理念の唱和を行なっている。全職員が同じ目標に向かい、理念の意識を高め実践できるように心がけている。	理念は玄関・リビング・事務所・各居室に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝、理念の唱和を行い、確認し日々の実践に繋がるよう心がけている。月1回の各ユニットでのケアカンファレンスや全体職員会議で振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方々とは挨拶を交わしている。自治会にも加入しており、地域の行事へも参加できるものには参加している。	自治会に加入し地域情報を得て地域行事の六月燈へ灯籠出品や運動会に参加し、事業所行事の夏祭り・敬老会には地域住民の参加もある。ハーモニカ演奏などのボランティア受け入れや中学生の職場体験、高校の実習生受け入れをしている。花のプレゼント等もあり日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日置市の現状や認知症の症状理解等を運営推進会議を利用し発信している。また、高校生の実習の受け入れも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催しています。家族代表・自治会の代表・行政の方々の参加を得ています。活動状況・自己の報告等を行ない、意見をサービス向上へ活かすように努めている。</p>	<p>定期的に会議を開催し、行政や地域包括支援センター職員の参加も得られ、入居者の介護度や職員の状況、行事報告と予定、ヒヤリハット等を報告している。意見をサービス向上に活かせるよう取り組んでいる。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>定期的に介護相談員の受け入れを行ない、日頃言えない言わない思いを理解している。市の担当者とは、電話や訪問を行ない、連携を図っている。</p>	<p>市介護保険課や福祉担当者、地域包括支援センター職員とは日頃から窓口に出向き相談・助言をもらうなど、連携し協力関係を築いている。生活保護担当者や介護相談員の訪問で情報共有している。市主催の研修会にも参加し意見交換している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束員会を中心に知識を学び、共有意識を図っている。また、2ヶ月に1回マニュアルの見直しを行ない、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>委員会を中心に2ヶ月に1回マニュアルを確認し全体ミーティングで見直しをしている。言葉遣いも職員間で注意し合い、利用者が自由に行動できるケアを心がけている。外出希望の場合、見守りや声かけを行い、一緒に外出するなど、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>利用者の身体状況について観察を行ない、報告及び連絡をするようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護についての勉強会を行政に依頼し、認識を深めるように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>基本的な理念や利用者の説明を充分に行なうことで、利用者や家族の不安や疑問を和らげ、状況に応じて繰り返し説明を行なうことで、理解・納得をして頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者と話す機会を積極的に持つようにし、利用者の行動・表情から思いを察し、日々のケアに活かせるように努めている。家族については、面会時に気軽に話し、相談できる雰囲気作りに努めている。</p>	<p>利用者には日頃から積極的に声かけし、家族には運営推進会議や面会時に利用者の現状報告し、意見や要望を聞いたり相談を受けたりしている。手紙を送付し運営に反映している。面会簿やアンケート用紙に意見などを書きやすくする為の工夫を検討中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回スタッフ会議を開催しています。日々の申し送りを利用して、スタッフの意見を聞き、検討・改善に努めています。</p>	<p>月1回のスタッフ会議や各ユニットでのケア会議で意見や提案を聞いている。日々の申し送りやケアの中で管理者やケアマネジャーが相談等対応している。介護方法など一貫したケアを実践し反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を積極的に行なっています。取得後は手当として、給与に反映し、本人の意向を尊重しながら職場内で活かせるように労働条件づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修への参加を積極的に受けられるように機会の確保に努め、職員1人1人の質の向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月に1回、向上委員会を開催し、質の向上に向けて意見交換を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の聞き取り、面談を行ない、入居後は利用者が相談できるように、スタッフを配置し、利用者の小さな変化を見逃さないように心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方の困っていること等を受け止め、アドバイスできるように環境を整えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族からの意向だけではなく、必要に応じてサービス利用機関や行政とも連携を取りながら対応できるように慎重に行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有している。利用者から教わることもあるので、その場面を多くもてるように声かけなどを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の身体状況について気づき・観察を行ない、報告・連絡をし、日常の様子について家族との情報交換を行ない、情報共有に努め、理解しながら本人にとって良いケアができるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人との関係が絶えることないように、家族に協力をもたらしながら支援に努めている。また、地域の行事等に参加し、知人に会える機会を持てるようにしている。	家族や友人・知人の面会時にはお茶を出し対応している。定期的な受診の帰りにドライブしたりしている。家族の協力で理美容院、墓参り、法事等の外出、外泊など、関係性が途切れない支援に努めている。手紙や電話等の取り次ぎ支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、関係性を把握し、お互いが良い関係性を築けるように声かけや支援を行なっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も必要に応じて、家族・利用者の相談や支援ができるような関係を保つようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にサービス内容の確認で把握したりひびのコミュニケーションから思いなどを引き出す。（動作の変化・表情）	日常のコミュニケーション時やトイレ排泄・入浴時にゆっくり思いや意向を聞いている。困難な場合は表情や動作から思いを把握している。申し送りノートを活用し、職員全員が共有し、必要時は、家族の協力を得て本人本位で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に生活暦などの情報を収集するので、情報共有のため、随時カンファレンスを行なっている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	年齢・身体能力を配慮し、自由に見守り・声かけの中で過ごしてもらおう。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスにおいて、モニタリングし、プラン内容の確認をしている。医療関係はすべて担当看護師を通して行う。	本人と家族、医療面は看護師からの情報を得て担当者会議を開催し、ケアカンファレンスでの意見を基に現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎、見直しも6ヶ月毎に行い、必要時はその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録とは別に特別な出来事があった場合のケアを記録に取るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同法人系列の事業所から入居される事もあり、ニーズによって他事業所での情報を担当看護師中心に行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	グループホーム周辺にある行政との連携、中学校・高校の受け入れで個人の力が発揮できる環境作りやボランティア等の関係機関に働きかけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	「24時間体制」事業所の協力医のほか、利用前からかかりつけ医及び他科診療も受けられるよう家族と協力し通院・往診介助を行なっている。	契約時にかかりつけ医について希望を確認し、全員が協力医療機関が主治医となっている。利用者に応じた通所リハビリも職員同伴で受診し、諸検査なども受けている。結果は電話連絡や面会時に家族へ報告している。他科受診は基本的に家族対応である。事業所担当看護師を通して24時間医療連携体制である。状況に応じて主治医の往診があり、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>朝夕の見守りで気づいたことをケアマネに伝え、看護師に相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院によるダメージを極力防ぐために、担当看護師と話をする機会を持ち、事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるように連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ホームでできることはしながら、本人・家族と相談しながら連携医療機関と協力し、支援している。</p>	<p>事業所では看取りはしない方針であることを説明し、同意書もある。病状の変化に応じて主治医や看護師からその都度説明があり、指示に基づいて連携しながら、家族の相談を受け、情報や提案をして、家族と共有しながら支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急のときは看護師・主治医にいつでも連絡が取れている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>月1回、防災訓練を行なっている。</p>	<p>年2回消防署立会の昼夜間想定で避難訓練を法人職員と合同で実施している。独自での防災訓練も行っている。運営推進会議で報告をしている。非常用として事業所で水を管理し、法人医療機関で食料等の一括備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ会議・勉強会を通して、職員の意識向上を図り、利用者の誇りやプライバシーを損ねない接し方に努めている。	外部研修は管理者が参加し、スタッフ会議で伝達、勉強会も実施している。トイレ介助の際、難聴のある利用者にはジェスチャーやメモを渡す等、利用者に応じて言葉遣いや個々に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	それぞれの自己表現で、本人の希望を理解し、支援をする。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の健康状態や体調に合わせて、入浴や食事時間をずらしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者ができる範囲はしてもらい、できないことがあれば手伝いをする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に合わせて、食べやすいように食事携帯を工夫している。行事の時には、それにあった献立をしている。	法人の管理栄養士により栄養面が管理されている。利用者の好みを伝達し、嚥下機能に応じた食事形態で美味しく食べれるように支援している。テーブル拭きや下膳を職員と一緒にしている。行事食や誕生会・屋外でのソーメン流しをしている。おやつは手作りの蒸しケーキ等が出て楽しみとなるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食べる量・状態を栄養士さんに相談・支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きを行なう。磨けない人は、口腔ウェッティでケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を決めてトイレ誘導している。	排泄チェック表でそれぞれのパターンを把握し、日中は全員トイレ誘導し排泄支援している。リハビリパンツや布パンツにパットを使用している。パットの枚数を減らすことを目標に自立に向けた支援に努めている。見守ることで失禁を減らすことができた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分量に注意し、適度に体を動かす機会や複式呼吸・腹部マッサージ等を行ない、できるだけ下剤に頼らず自然に排泄できるように努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎朝バイタルをチェックして入浴する順番をなるべく希望に合わせて、入浴中は長湯に気をつけて、個々の話題に合った会話をしながらコミュニケーションをとり楽しめるように努める。	基本的に週3回の入浴を好みのボディソープ・シャンプーを使って楽しんでいる。時間帯は主に午前で午後の時もあり希望に応じた支援をしている。状態に応じて清拭、足浴、陰洗支援もある。拒否時は無理強いせず別の日に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣として食後は気持ちよく休息できるような環境を作り、ゆっくり足を伸ばしてもらおう。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェック表を活用しながら、薬の内容と個数を確認し合い、飲み忘れの防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者になるべなどく楽しめるように個々の好みを引き出し、ゲームや歌・体操など取り入れ支援してしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>週2～3回リハビリや地域の行事に参加したり、屋外での食事（ソーメン流し）支援を行なっている。</p>	<p>日常的にベランダで日光浴をしたり、週2～3回の受診時に近距離をドライブしている。年間計画で出かけている。屋外でのソーメン流し支援も行っている。家族の協力で墓参りや買い物、外食外出、外泊等をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持について、今現在利用者で所持している利用者がいませんが、利用者の認知度行動などをみて実施できればと思います。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>今現在では実施できていません。電話をしたいという気持ちやお手紙を書きたいと本人の希望があれば実施します。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感や生活感は、現在では実施できていない状況ではありますが、利用者にとって不快な思いをさせる音や光などはないです。居心地の良い環境であるように努めていく。</p>	<p>共用空間はカーテンで光を調整し、加湿器で温度・湿度・換気に配慮し、清潔な環境となっている。季節の壁飾りがあり、テレビやラジオ・ソファがあり、ゆっくり寛げるように工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにて他利用者同士のコミュニケーションはそれぞれの利用者同士取れている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活習慣を崩さず、安心して休息・眠れるように支援しています。</p>	<p>各居室にはベット、タンス、エアコンを設置し、寝具はリースである。使い慣れた物などを持ち込んでいる。加湿器や椅子、衣装ケース、ラジオ、人形、手作り作品などが有り、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>転倒リスクをなくす為、一人ひとりに合った物の配置をしています。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない